

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*1964年3月22日の月の写真乾板がでてきた**

国立天文台の古いものを整理していて、段ボール箱から裸に近い状態で少し厚手の紙に挟まれた写真乾板が出てきた。見ると月が撮影されている。同時に東京天文台天体掃索部宛の手紙2通が出てきた。これらの手紙の消印は、1通は昭和46年7月17日、もう一つの手紙は速達便で昭和50年1月23日となっている。1964年といえば昭和39年である。

これら3件が同時に出てきたが、1964年(昭和39年)、1971年(昭和46年)、1975年(昭和50年)と全くばらばらである。1971年(昭和46年)の手紙は、高知の関勉氏からのもので、写真乾板が届いた、ベネット彗星の写真を受け取った、Nova Sep 1971が眼視観測で8.4等だったなどの報告であった。もう1通は、小犬座の不明天体の問い合わせであった。これらの手紙が一緒であったことから、この月の写真も天体掃索部のものであったと思われる。月を撮影した乾板が5枚、何を撮影したかわからないものが1枚である。

1枚目は1964年3月22日という書き込みが乾板上にある(写真1)。



写真1

月の部分を拡大したものが写真2である。



写真2

乾板下部に、撮影日、エマルジョン、露出時間、現像液などのデータがある。

2枚目はフィルターなしで、写真1の10分の1の露出で撮られている（写真3）。



写真3

3枚目は極めて状態がよくない。乾板上にインクでのメモ書きは判読不能だが、乾板の現像時に書かれたメモが鮮明である(写真4)。4枚目の乾板が写真5である。



写真4



写真5

4枚目の月の部分の拡大写真が写真6である。



写真6 4枚目の乾板の月の拡大写真

5枚目の乾板が写真7である。その月の部分の拡大が写真8である



写真7



写真86

6枚目の乾板は何を撮影したものかもわからないものである（写真9）。



写真9

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)